

香焼中学校第3学年国際交流（道徳）学習指導案

令和5年9月13日（水）4校時 3年1組教室（1階）

令和5年9月15日（金）5,6校時 第2理科室（3階）

1 単元目標 香焼の「過去・現在・未来」を通して、持続可能な平和な社会を創るという視点を育てる。

2 単元について

（2）生徒について

進路選択の時期に差し掛かり、将来について考える機会が多くなってきた。ただ、目標が高校進学に留まり、将来の目標や夢を意識した目標設定がうまくできていないことがうかがえる。

この時期に、自分で考える学び・他者からの学びを通して、多面的・多角的に物事を捉える視点や、国際的な視野を持ち合わせていくことが大切であることからこの学習を設定した。

（1）教材について

【つきたい力】

- 将来の目標や夢、平和等のテーマについて伝えあえる力
- 身近なことから世界とのつながりについて考える力
- （初対面の人とも）会話を続ける力

B「相互理解、寛容」

C「国際理解、国際親善」

（3）指導について

「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」において、「答えが一つではない道徳的な課題を一人ひとりの生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う『考える道徳』、『議論する道徳』へと転換を図る」ことが明記されている。そのため、授業の形態として「自力解決（主体性：個人での学習）」、「課題解決（対話的で深い学び：グループ協議を通じた学習）」を取り入れた授業展開とする。

- ① 戦時中の俘虜収容所の写真を使用することで、時代の違いを理解し、そこに生きていた人々の生活を想像して議論し、平和に対する考え方が一つではないことに気づく。
- ② 香焼に生きた日本人、国際人の生き方を通して、将来の目標設定や自分の生き方について再考する。
- ③ 他者と【協力】【共生】するために、私たちにできる持続可能な平和な社会について考えることができる。

### 3 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点	備考
13日 (水) 4限	<p>フォトランゲージ&lt;個人&gt;</p> <p>① 俘虜収容所があった当時の写真とその跡地に建てられた今の香焼中学校の写真とを比較してどんなことを感じますか。</p> <p>② ①の考えをクロームブックを（以後CB）用いて英訳する。</p> <p>ダイヤモンド・ランキング&lt;個人&gt;</p> <p>③ 各自、平和な国際社会について考える。</p> <p>④ あなたにとって「平和を世界のすべての人の手に」するために大切なものは何でしょう？SDGsの9項目をランキングして自分の考えを可視化する。</p> <p>⑤ それぞれの理由付けについての考えをCBを用いて英訳する。</p>	<p>・時代の違いを理解し、そこに生きていた人々の生活や社会背景を想像する。</p> <p>・15日のグループ交流の準備として自分の考えをまとめる。</p> <p>・考えの違いを認め合うための活動として「ダイヤモンドランキング」を行う。</p>	<p>・今と昔の香焼中学校上空からの写真</p> <p>・CB</p> <p>・英訳を記録するワークシート</p> <p>・ダイヤモンド・ランキングを行うためのJamboard</p> <p>・英訳を記録するワークシート</p>
15日 (金) 5限	<p>フォトランゲージ&lt;グループ&gt;</p> <p>⑥ ①の自分の考えたこと、感じたことをグループ内において英語で発表する。</p> <p>⑦ 自分の考えについての他者の意見を聞く。</p> <p>⑧ 考え方を共有する。</p> <p>ダイヤモンド・ランキング&lt;グループ&gt;</p> <p>⑨ ランキング化したSDGsの9項目についてCBを見せながら発表し、その理由について英語で発表する。</p> <p>⑩ 自分の考えについての他者の意見を聞く。</p> <p>⑪ 考え方を共有する。</p>	<p>・対話的な学習を進めるにあたり、考えの違いを認め合うことがとても大切である。</p> <p>・この活動をオランダの遺族の方々の訪問という絶好の機会を活用して実施することにより、「自分の考えを伝えること」「相手の考えを受けれること」といった多様性の理解の素地となる力をつけさせたい。</p>	<p>・考えを記録したワークシート</p> <p>・CB、理由を記録したワークシート</p>